

てつなぎ

保健だより

まだまだ寒い日が続きますが、園には毎日子どもたちの笑い声があふれ、まるで一足先に春がきたように感じられます。「先生、息が白いよ」と外で元気に遊ぶ子どもたちが不思議そうに教えてくれます。おとなは、息が白くなると余計に寒さを感じますが、子どもたちは寒さよりも不思議さが勝り、より一層元気に走り回る姿に、私たちもパワーをもらいます。

今月は「春の花粉飛散予測」と「自分の体の大切な場所」についてお知らせします。



2023年 春の花粉飛散予測

今年の1月～2月にかけての平均気温は、東日本で平年並みか低い予想です。

この時期らしい寒さにより睡眠打破が順調に行われて、スギ花粉の飛散開始時期は、各地で例年並みとなる見通しです。

スギ花粉は、飛散開始と認められる前からわずかな量が飛び始めます。1月から早めに花粉対策を始めるとよいでしょう。

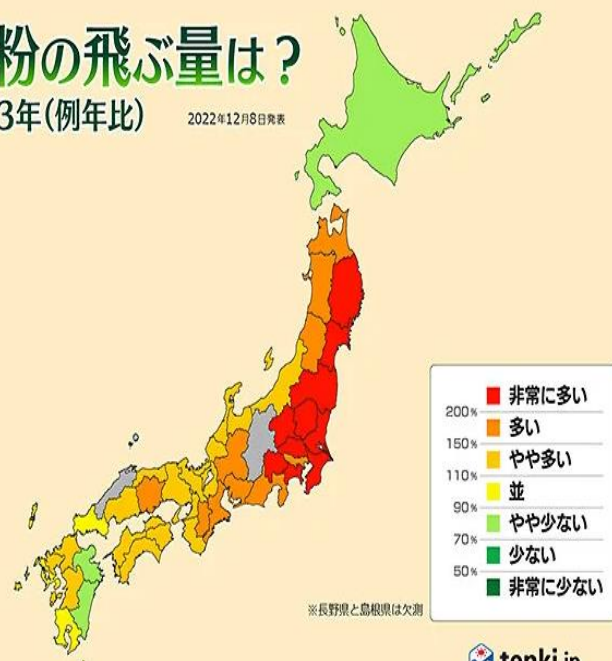
花粉の飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響します。「高温・多照・少雨」の年は、花芽が多く形成され、翌春の飛散量が多くなると言われています。

昨年6月はスギの花芽形成に好条件だったため、今年のスギ花粉飛散量は多いと予想されています。

花粉の飛ぶ量は？

2023年(例年比)

2022年12月8日発表



2023年 春の花粉飛散予測 (第2報) - 日本気象協会 tenki.jp

5歳児クラスのみなさん、2回目のMR予防接種はお済みですか？

接種対象年齢を過ぎると公費で予防接種が受けられなくなります。

必ず小学校入学前に接種が済んでいるか確認しましょう。

MR（麻疹・風疹）ワクチンは1歳と就学前の2回接種で完了です。

受けていないお子さんは、かかりつけ医と相談し、**2023年3月31日まで**に済ませましょう。




自分の体の大切な場所


2021年4月以降、文科省により「生命（いのち）の安全教育」が推進されています。そこでは、子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の園・学校において、プライベートゾーンや他人との境界線などを指導することとされました。

プライベートゾーンは、幼児～小学生頃から伝えることとなっており、段階的な導入が進められています。松葉保育園でも、5歳児クラスの健康教育として取り入れています。

[\(https://meiiku.com/howtonavi/privatezone-teaching/\)](https://meiiku.com/howtonavi/privatezone-teaching/)

人の体は全てが大切ですが、特に自分だけの大切な場所を「プライベートゾーン」と言います。

プライベートゾーンは、「水着で隠れる場所（胸・お尻・性器）+口」のことを言います。

プライベートゾーンは、直接、妊娠・出産・生命に関わる場所で、他の人が勝手に見たり、触れたりしてはいけない場所です。

[\(https://kosodategaku.net/private-zone-picture-books/\)](https://kosodategaku.net/private-zone-picture-books/)



プライベートゾーンを教える6つのポイント

@nanakamado

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 自分だけの大切な場所 | 自分だけはきれいな手で触って良い | 誰かが触ろうとしたら嫌だと言う |
| 人のプライベートゾーンを見たり触ったりしない | 自分の体はプライベートゾーン以外も大事 | 触られたら信用できる大人に相談する |

[\(https://kosodategaku.net/private-zone-teaching-method/\)](https://kosodategaku.net/private-zone-teaching-method/)

プライベートゾーンは、自分以外の人が見たり触れたりしてはいけない場所であり、例え親でもふざけたり愛情表現で触れてはいけません。お世話をする時など必要な時はきちんと理由を伝え、確認するようにしましょう。0歳の時から「おむつを替えるね」「お尻きれいにするね」と見たり触れたりする理由を伝え、相手を大切に思っているということをきちんと伝えます。

もし、人に見られたり、触られたり、触らせようとしたりしてきた時は、自分の心と体を守るために「いやだ」と言って良い事も伝えます。また、そんな事があった時は、すぐに信頼できる大人に知らせるように教えておきます。

1月の様子

近隣の乳幼児施設や小中学校ではインフルエンザが猛威をふるっているようです。大丸ではインフルエンザやコロナウイルスの流行はありませんでしたが、1才児クラスを中心に胃腸炎の流行があり、現在も感染対応中です。どの感染症も感染対策の基本は手洗いになります。感染症が流行りやすいこの時期は親子でしっかり手洗いをしましょう。 （山崎 弘美）